

立命館経済學

第十二卷 第五・六号

昭和三十九年二月

内 容

論 説

- リカア下等と農業.....井 上 次 郎 1
- 西独の労働者教育.....平 田 隆 夫 25
- 経済学における分析モデル.....今 川 正 直 59
- 『資本論』における科学と哲学.....清 水 直 徳 87
——分析的方法によつて——
- 現代学における農民層分析の特色.....大 敷 祥 徳 104
- 独占資本主義のもとでの経済成長の長短.....斎 藤 理 一 郎 144
(分析的方法的批判の試み)

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第十二巻・第三号

論説

社会統計における母集団の意義……………関 弥三郎

A・スミス D・リカアドオ
J・S・ミルにおける租税転嫁論の展開……………箕浦格良
——古典学派における財政思想(三)——

計量経済学モデルによる
戦後景気循環の構造分析(二)……………岡崎不二男
——制約された循環か自由な循環か——

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館経済学 第十二巻・第四号

論説

経済における国家の問題(一)……………高橋良三
金融資本にかんする一考察……………小牧聖徳

A・スミス D・リカアドオ
J・S・ミルにおける租税転嫁理論の考察……………箕浦格良
——古典学派における財政思想(四)——
広い意味での経済学について(承前)……………木原正雄
——「社会主義経済学」の生成と発展——

資料

董輔昶「マルクス再生産表式の
具体化についての試論」……………松野昭二
——社会的生産物の生産と使用の統一的角度から——

発行所 立命館大学人文科学研究所